

【第三種郵便物認可】

日本経済新聞

2月26日
火曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社〒100-8066 (03)3270-0251
東京都千代田区大手町 1-9-5
大阪本社〒540-8588 (06)6943-7111
大阪市中央区大手前 1-1-1
名古屋支社〒460-8366 (052)322-2561
名古屋市中区正木 2-3-1
西部支社〒812-8666 (092)473-3300
福岡市博多区博多駅東 2-16-1
札幌支社〒060-8621 (011)281-3211
札幌市中央区北 1条西 7-3

挑む

埼玉の有力中堅



山本弘信社長

オー・エス・ピー(O.S.P.、山本弘信社長)は有機物質の量や濃度を検出する独自のセンサーの実用化に取り組みベンチャーだ。公的助成金制度などを活用しながら研究開発を続けてきたが、今春から本格的に自社製品の出荷を始める。

同社のセンサーは特殊な高分子膜と光センサーを使って有機物質を検出する。高分子膜が有機物質を吸収すると膜の厚みが変わり、光の屈折率も変化するのを検出する。トリクロロエチレン、石油などによる水質・土壌汚染の調査用や、飲料メーカーが出荷前

オー・エス・ピー

迅速に有機物質検出

販売本格化

の製品の成分のばらつきを見エックするといった用途を見込んでいる。

従来の検出方法と異なり有機物質を調べる液体にセンサーを入れるだけで、数秒で結

果を得られるのが利点。環境調査の場合、従来は土壌などを持ち帰って研究施設で調べていたが、現場で実施できるようになる。液体にずっとつけておき、有機物質の濃度の変化をリアルタイムで調べる

といった検査も可能になる。山本社長は独の大手医薬品

▽本社	狭山市東三ツ木	
▽設立	1998年12月	
▽資本金	300万円	
▽従業員	3人	
▽業績(単位:百万円)		
	売上高	最終損益
2001年10月期	1	▲17
2002年10月期(予)	20	▲5

のを契機に三十二歳で独立。研究中止となったセンサー開発を引き継いだ。「もう二、三年研究を続ければ実を結ぶ自信があった」(山本社長)

仕事で使っていた研究用機器を退職金を使って譲り受け、以前の職場に近い狭山市内に本社兼開発拠点を構えた。会社員時代の研究で出願した特許はヘキストに帰属し

ているため、契約を結んで使っている。

独立するとき知り合った

社外の経営コンサルタントや税理士ら四人と契約して、営業や経理業務を外注している。

「月数回の打ち合わせや電子メールによる情報交換で経営や開発のアドバイスを

得る。今年、軽油センサーの拡販を最優先して、順調に進めば別の製品発売にも取り組む。

早ければ今年中にも水質汚染を調べるセンサーを製品化する計画だ。

